



# 博物館ニュース「SHŪ」

NO. **53**

“SHŪ” News of Tamagawa University Museum of Education

2019年9月20日

玉川大學教育博物館



## 目次

展示会への招待	2
新展示紹介	3
報告	4
開館カレンダー	
利用案内	6

ヤリハシハチドリ『ハチドリ科鳥類図譜』全6巻  
(5巻1849-1861年・補遺1巻1880-1887年より)

制作：ジョン・グールド

原画：ジョン・グールド、H.C.リヒター

石版手彩色 56.8 × 38.9 cm

1849年から刊行を開始した『ハチドリ科鳥類図譜』は5巻に360図、補遺に58図が掲載されています。標本としてアメリカ大陸からもたらされたハチドリの美しさに魅了されたグールドは、膨大な数の標本を収集しました。1851年のロンドン万国博覧会の際は、ロンドン動物園にハチドリ展示館を設け、所蔵するハチドリ標本を公開しました。図譜のハチドリは基本的に1種1図版で、全6巻に418図・419種が描かれています。

## 展覧会への招待

### 玉川学園創立 90 周年特別展

### ジョン・グールドの鳥類図譜

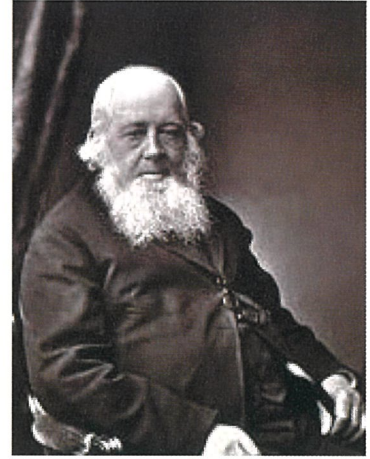
—19 世紀 描かれた世界の鳥とその時代

玉川学園創立 90 周年記念の特別展として、19 世紀に活躍したイギリスの博物学者・ジョン・グールド (1804-1881) が制作した鳥類図譜をもとに展覧会を開催します。グールドはイギリス南部のドーセット湾にあるライム・レジスという小さな漁村に生まれました。幼い頃から自然に親しんだ彼は、やがて剥製作りの技術を習得し、20 歳の時にロンドン動物学協会附属博物館に勤務しました。鳥類に魅せられたグールドは、1829 年に画才を備えたエリザベス・コクスンと結婚し、1831 年から妻の協力のもとに鳥類図譜の制作をはじめました。図譜は当時新しい印刷法として開発された石版画 (リトグラフ) の技法を利用しています。

制作は、まずグールドのラフスケッチや指示のもとに構想を練り、画家たちが水彩による原画を作ります。

次に原画を石版に転写し、石版印刷業者が製版と印刷を行います。そして刷りあがった墨刷石版画に、色付師が筆で色を加えて完成させました。当時の博物図譜の制作は予約制で、できあがった分冊を購入者のもとに送り、分冊がそろった時点で購入者自身が製本業者に依頼して製本するという形式でした。グールドが制作したインペリアル・フォリオ判 (約 56 × 39cm) の鳥類図譜には、『ヒマラヤ山脈百鳥類図譜』『ヨーロッパ鳥類図譜』『オオハシ科鳥類図譜』『キヌバネドリ科鳥類図譜』『オーストラリア鳥類図譜』『アメリカ産ウズラ類鳥類図譜』『ハチドリ科鳥類図譜』『アジア鳥類図譜』『イギリス鳥類図譜』『ニューギニア及びパプア諸島鳥類図譜』などがあり、他に小型本の『オーストラリア及び近隣諸島の鳥類概説』を加え、当館ではこれら 41 巻を所蔵し、国内最大のグールドコレクションとなっています。今回の展覧会では山階鳥類研究所の協力を得て、同研究所所蔵のグールド制作『オオハシ科鳥類図譜 (補遺)』、『キネバネドリ科鳥類図譜 (補遺)』、『鳥の図像』を出品していただくことになり、国内で初めて計 44 巻のグールド鳥類図譜がそろいます。

本展では、グールドの鳥類図譜を、博物学、鳥類学などの学術的側面や美術的側面などを含め、さまざまな側面から取り上げ、その資料的価値を明らかにするとともに、図譜から今何が解るのかという観点から展示を構成します。なお、より多くの方々にグールドの鳥類図譜をご覧いただくため、学外にも会場を設け、当館との 2 か所で順次開催します。玉川大学教育博物館では前期後期の 2 期に分けて展示しますが、池袋会場では、日本で初めて 44 巻を一堂に展示します。皆様のご来場をお待ちしております。



ジョン・グールド (1875 年撮影)



『オーストラリア鳥類図譜』全 8 巻 (1851-1869 年)

【池袋会場】

- ◆場所 東京芸術劇場ギャラリー1 東京都豊島区西池袋1-8-1
- ◆会期 2019年10月5日(土)～10月13日(日)
- ◆時間 10:00～18:30(最終入場18:00) 入場無料
- ◆休館日 10/7(月) ※施設休館日のため

【玉川学園会場】

- ◆場所 玉川大学教育博物館 第2展示室 東京都町田市玉川学園6-1-1
- ◆会期 2019年10月28日(月)～2020年2月2日(日)  
※会期を前期・後期に分け、一部展示替えを行います  
前期 10月28日(月)～12月7日(土)  
後期 12月10日(火)～2月2日(日)
- ◆時間 9:00～17:00(最終入館16:30) 入館無料
- ◆休館日 11/2(土)、3(日)、12(火)、13(水)、17(日)、24(日)、28(木)、30(土)、12/8(日)、  
9(月)、14(土)、26(木)～2020/1/5(日)、13(月)、19(月)、25(土)
- 主催 玉川大学教育博物館
- 特別協力 公益財団法人山階鳥類研究所
- 展示協力 カンザス大学ケネス・スペンサー・リサーチ・ライブラリー／オランジェリー・コレクション／  
玉川大学教育学術情報図書館

＜関連事業＞

【池袋会場】 東京芸術劇場ギャラリー 1・2

- ◇シンポジウム 「19世紀のジョン・ゲールド鳥類図譜から今何がわかるか」要予約  
2019年10月8日(火) 13:30～15:45  
基調講演：荒俣宏氏(作家・博物学研究者・京都国際マンガミュージアム館長)  
※参加費無料／詳細および申込方法はホームページをご覧ください

- ◇ワークショップ 「折り紙で鳥をつくろう」要予約  
2019年10月9日(水) 13:30～15:00 講師：白田隆行氏(折り紙作家)  
※参加費無料／詳細および申込方法はホームページをご覧ください

- ◇ワークショップ 「ゲールドのトリズリエ」要予約  
2019年10月10日(木) ①11:00～ ②13:30～ 講師：教育博物館学芸員  
※参加費無料／詳細および申込方法はホームページをご覧ください

- ◇ギャラリートーク(教育博物館学芸員が展示の見どころを解説します)  
2019/10/11(金)、10/13(日) 各回とも13:30～14:30(予約不要・参加費無料)

【同時開催】 玉川大学・玉川学園学友会 文化・芸術展

- 卒業生で著名な陶芸家・木漆工芸家等の作品を、ギャラリー1にて展示します
- ◇日時 2019/10/5(土)～13(日) 10:00～18:30(最終入場18:00) 入場無料
- ◇休館日 10/7(月)
- ギャラリー2では、著名な卒業生によるフラワーデザイン・茶道のパフォーマンスを行います
- ※期間中に開催予定 お問合せ：学友会事務局 tel. 042-739-8960

【玉川学園会場】 玉川大学教育博物館

- ◇ワークショップ 「リトグラフで鳥の絵に挑戦」要予約  
①2019年12月15日(日) ②2020年1月18日(土) 各回とも13:30～15:30  
講師：河原正弘氏・平川幸栄氏(版画工房カワラボ)  
※参加費無料／詳細および申込方法はホームページをご覧ください
- ◇野外散策 「丘めぐり! プラタマガワ」(玉川学園の歴史と自然を楽しむ散策)要予約  
2019年11月23日(木・祝) 13:30～15:00  
講師：教育博物館学芸員  
※参加費無料／詳細および申込方法はホームページをご覧ください
- ◇ギャラリートーク(教育博物館学芸員が展示の見どころを解説します)  
2019/11/10(日)、12/5(木)、12/21(土)、2020/1/21(火)  
各回とも13:30～14:30(予約不要・参加費無料)

お問合せ：玉川大学教育博物館事務室 tel. 042-739-8656

## 学内連携の教育活動

### － 「The Library of Smell 匂いの図書館」 への資料提供 －

2019年6月13日（木）、14日（金）の両日、玉川大学芸術学部が主催する「ワークショップ The Library of Smell 匂いの図書館」が開催されました。このワークショップは様々な書籍の匂いを嗅ぐ体験を通して、人間の嗅覚と記憶についての理解を深めることを目的とした活動で、2019年度芸術学部共同研究「媒体としての空間：大学オルタナティブ・スペースの運営による、実践的な芸術教育に関する継続研究」の一環として行われました。当館では、このワークショップに明治期を中心とする和装本を提供しました。

2017年から2018年まで、ミュンヘンのMuseum Villa Stuckで開催された展覧会、The Library of Smellで、今回のワークショップに類似した活動を実践した美術作家の井上尚子氏の指導のもと、参加者たちは当館提供の和装本も含む様々な書籍の匂いを嗅いで、どのような印象を受けたかワークシートに記入を行い、嗅覚と記憶の関係について学びました。人間の肉眼では可視化できない匂いの感受から、時の流れや書籍の文化的特徴を体感する今回のワークショップは参加者に強いインパクトを与えたようです。



### 発掘調査報告書の刊行

2019年3月末に、玉川学園構内に所在する本部台遺跡<sup>ほんぶだい</sup>の発掘調査報告書を刊行しました。

2017年8～9月に診療所「保健センター健康院」の新棟建設に伴い同遺跡の第3次調査を行い、2軒の縄文時代中期の竪穴住居址が検出されました。他の調査区で見えられた住居址よりも時期的にやや新しく、集落の継続期間がより長期に及んでいたことがわかりました。8号住居址の炉址出土の炭化材で放射性炭素年代測定を実施したところ、紀元前3083～2904年との結果が出ました。

この報告書の作成にあたり、既に報告されている1967年の第1次調査、1977-78年の第2次調査の内容についても、出土品の再整理を行いました。例えば第2次調査の報告書（1984年）で、6号住居址出土の珧状耳飾<sup>けつじょう</sup>の半欠を再利用した軟玉製垂飾とした資料は、今回の観察・再検討の結果、全国的に出土例の稀な「の字状石製品」の破損品と判明しました。このような成果を収録し、これまでに実施された本部台遺跡の調査成果の全体を知ることができるようにしました。

発掘調査の出土品は、都道府県教育委員会が所有権を有するのが原則ですが、本部台遺跡第3次調査の出土品については、当館が第1次、第2次調査出土品を既に所有していたので、一体的に保管し、展示等の教育活動に活用するため、申請して譲与を受け、当館の所蔵資料となりました。

当館では、2017年に田端環状積石遺構<sup>たばた</sup>、御嶽堂遺跡<sup>みたけどう</sup>（いずれも町田市所在）の調査報告書を刊行しており、これで3冊目の発掘調査報告書となります。いずれも、当時実際に発掘調査を担当した、戸田哲也氏をはじめ玉川学園考古学研究会OB等関係者にとりまとめたいただきました。刊行した報告書は、近隣の図書館及び全国の考古学関係機関あてに送付し、地域や学界への周知を図っています。

# 報 告

## ■寄贈資料の紹介

### ロシアアイコン、ブルガリアアイコン

このたび丸山健氏より、アイコン4点(①「燃えざるイバラの中の聖母」②「十字架上のキリスト」③「悲しみの聖母」④「聖ゲオルギウス」)の寄贈を受けました。これらのアイコンは、丸山氏のご尊父で元外交官の故丸山成徳氏が所有されていたもので、東欧や旧ソ連に赴任の際、その地で私的に収集されました。4点のうち、3点はロシアアイコン、1点はブルガリアアイコンと推測され、非常に珍しい資料であるといえます。「十字架上のキリスト」と「悲しみの聖母」は当館所蔵のアイコンには見られない形式です。また「燃えざるイバラの中の聖母」と「聖ゲオルギウス」においては、当館で既に同題の作品を所蔵していますが、様式が異なっています。これらを皆さまにご覧いただけるよう、今後は計画を立てて修復を行う予定です。



① 「燃えざるイバラの中の聖母」



② 「十字架上のキリスト」



③ 「悲しみの聖母」



④ 「聖ゲオルギウス」

## ■教員免許状更新講習

昨年度に引き続き、本学教師教育リサーチセンターに協力して『玉川大学教員免許状更新講習』において、講義とワークショップから成る「博物館資料の活用と学校教育」を8月2日に開講し、小中学校の教員ら22名が受講しました。



## ■博物館実習

通信教育課程「夏期学芸員スクーリング」

2019年8月10日～16日 54名

通学課程「館務実習」

2019年8月19日～22日 8名

統計(2018年10月～2019年3月)

開館日数 125日 入館者数 1752名

収集

〔資料〕	日本教育史	23件
	芸術	12件
〔図書〕	和書 54冊	洋書 0冊
〔定期刊行物〕	和雑誌	25冊
	洋雑誌	10冊

## 資料をご寄贈いただきました(順不同・敬称略 2019年3月～7月)

遊佐 肇	ジョン・グールド関係資料	8点	満足 京子	教育史関係資料	3点
	学園史関係資料	1点	丸山 健	アイコン	4点
鈴木 昭次郎	教育史関係資料	38点			

ありがとうございました。

# 2019年度下半期 開館カレンダー

2019年10月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

11月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

12月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2020年1月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

3月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

休館日

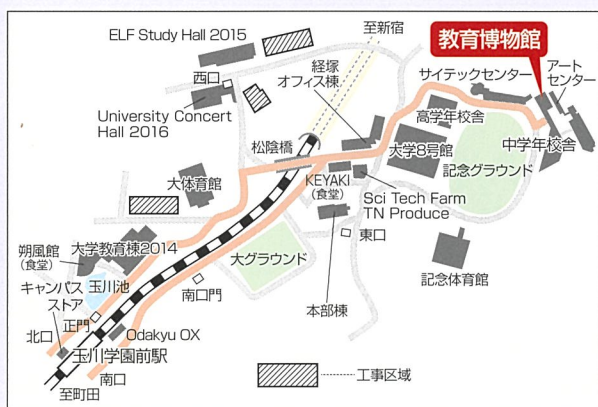
「ジョン・グールドの鳥類図譜」池袋会場

第1展示室(日本教育史常設展示)のみ公開

特別展「ジョン・グールドの鳥類図譜」

※この予定は、大学授業・行事日程等により変更することがあります。

詳細は当館ホームページをご覧ください、電話等にてお問い合わせください。



## 交通手段

小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩 15分  
 駅南口を出て、線路沿いの道を新宿方向に進むと、玉川学園の校門（南口）に行き当たります。博物館の建物の位置は、校門の案内所でお尋ね下さい。

（来館者用駐車場はありません。また校内での園児・児童・生徒・学生の安全のため、お車での来館はご遠慮下さい。）

## 利用案内

開館時間 午前9時～午後5時  
 （入館は午後4時30分まで）

休館日 日曜日・土曜日・祝休日・玉川大学の定める休日・展示替期間  
 （展覧会会期中並びに日曜日・土曜日及び祝休日に大学の通常授業や学校行事が行われる場合、当館も臨時に開館することがあります。詳細はお問い合わせください。）

入館料 無料

博物館ニュース SHŪ No.53

2019年9月20日

編集・発行 玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

TEL 042-739-8656 FAX 042-739-8654

www.tamagawa.jp/campus/museum/

『SHŪ』とは『集』、さまざまな「集められたもの」をめぐり、多くの人々の「集いの場」になることを目指して名づけたものです。